

# <sup>スキャントロニクス®</sup> *MT400e*シリーズ

取扱説明書

このたびは、当社スキャントロニクスMT400eシリーズをお買 い求めいただきまして、ありがとうございました。 本書は、はじめてスキャントロニクスMT400eシリーズをお使 いになる方が、短期間で基本的な操作を習得していただくこと を目的としています。 本書をよくお読みいただき、スキャントロニクスMT400eシ リーズの機能をフルに使いこなしてください。

■安全上のご注意 · · · · · · · · · · I
■設置及び取り扱い上のご注意 ・・・・1
■箱から出しましょう ・・・・・2
■各部の名称 ・・・・・4
■用紙のセット ・・・・・・7
■オプションタイプのセット ・・・・・13
■電源を入れてみましょう ・・・・・18
■動かしてみましょう ・・・・・・21
■あれ?どうしたのかな? ・・・・・45
■オプションについて ・・・・・52
■毎日のお手入れ・・・・・・・・・・・54
■基本仕様 ・・・・・55
■アフターフォローについて ・・・・・57

サトー製プリンタには純正サプライのご使用をお願いします。

株式会社サトー

# 安全上のご注意

本章では、プリンタのご使用時における安全について記載しております。 プリンタをご使用になる前に必ずよくお読みください。

# ▲絵表示について

汗亰

表示の例

この取扱説明書やプリンタの表示では、プリンタを安全に正しくお使いいただき、あなたや 他の人々への被害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。 その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解して、本文をお読みください。

**答/** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う 可能性が想定される内容を示しています。

> この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が 想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

△ 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。図の中に具体 的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

◎ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。図の中や近く に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。図の中に 具体的な内容指示(左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜 いてください。)が描かれています。

# ⚠ 警告

#### ■不安定な場所に置かない

・ぐらついた台の上や傾いた所、振動の ある場所など不安定な場所に置かない でください。落ちたり、倒れたりし て、ケガの原因になります。

#### ■水などの入った容器を置かない



 プリンタの周辺に花ビン、コップなど 水や薬品の入った容器や小さな金属物 を置かないでください。万一、こぼし たり、中に入った場合は、速やかに電 源スイッチを切り、電源コードの差し 込みプラグをコンセントから抜いて、 販売店、ディーラー又はサポートセン ターにご連絡ください。そのまま使用 すると火災・感電の原因となります。 ■内部に異物を入れない



 ・プリンタの開口部(ケーブルの出口や メモリカード取付口など)から金属物 や燃えやすいものを差し込んだり、落 としたりしないでください。万一、内 部に異物が入った場合は、速やかに電 源スイッチを切り、電源コードの差し 込みプラグをコンセントから抜いて、 販売店、ディーラー又はサポートセン ターにご連絡ください。そのまま使用 すると火災・感電の原因になります。

#### ■指定以外の電圧は使用しない



•指定された電源電圧(AC100V)以外 は、使用しないでください。火災・感 電の原因になります。

第2版 2009年7月 Q00198001 ©2009 株式会社サトー

Ι

#### ⚠ 警告 ■異常な状態で使用しない ■必ずアース線を接続して 必ずプリンタのアース線をアースへ接 •万一、プリンタから煙がでている、変 続してください。アース線を接続しな な臭いがするなどの異常が発生したま いと感電の原因になります。 ま使用すると、火災・感電の原因にな ります。すぐに電源スイッチを切り、 電源コードの差し込みプラグをコンセ ントから抜いて、販売店、ディーラー 又はサポートセンターに修理をご依頼 ■電源コードの取り扱いについて •電源コードを傷つけたり、破損、加工 ください。お客様による修理は危険で したりしないでください。又、重いも すので絶対におやめください。 のを乗せたり、加熱したり、引っ張っ たりすると電源コードが破損し、火 ■分解しないでください 災・感電の原因になります。 •プリンタの分解や改造をしないでくだ •電源コードが傷んだら(芯線の露出、 さい。火災・感電の原因となります。 断線など) 販売店、ディーラー又はサ 内部の点検・調整・修理は、販売店、 ポートセンターにご連絡ください。そ ディーラー又はサポートセンターにご のまま使用すると火災・感電の原因に 依頼ください。 なります。 電源コードを加工したり、無理に曲げ たり、ねじったり、引っ張ったりしな カッタについて いでください。そのまま使用すると火 カッタに手やものを入れないでくださ 災・感電の原因になります。 い。ケガをする恐れがあります。 ■落としたり、破損したときは ■ヘッド清掃液の取り扱いについて •プリンタを落としたり、破損した場合 ヘッド清掃液は、火気厳禁です。加熱 は、速やかに電源スイッチを切り、電 したり、火の中に放り込むことは、絶 源コードの差し込みプラグをコンセン 対に行わないでください。 トから抜いて、販売店、ディーラー又 •お子様が間違って飲み込まないように 手の届かないところに保管してくださ はサポートセンターにご連絡くださ い。そのまま使用すると火災・感電の い。万一、飲み込んだ場合は、ただち に医者と相談してください。 原因になります。 注意 ■持ち運び ■湿度が高い場所に置かない プリンタを湿度の高い場所、結露する •移動されるときは、必ず電源コードの



プリンタを湿度の高い場所、結露する 場所に置かないでください。結露した 場合は、速やかに電源スイッチを切 り、乾くまで使用しないでください。 結露したまま使用すると、感電の原因 となります。



移動されるときは、必ず電源コードの 差し込みプラグをコンセントから抜 き、外部との接続線を外したことを確 認の上、行ってください。外さないま ま移動すると、コード、接続線が傷つ き火災・感電の原因になります。
用紙をセットしたまま、プリンタを持 ち運ばないでください。用紙が落ち、 ケガをする恐れがあります。
プリンタを床や台の上などに置く場 合、プリンタの足に指や手を挟まない ように注意してください。



- (3)本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店・ディーラーへご連絡ください。
   (4)この法案は、情報の理聴案室空隙案点を規制体議会(ソスクス)の基準に基づくクラススト情報は依許
- (4) この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。



#### つぎのことに注意して、設置、取り扱いをおこなってください。

#### ▲設置場所について

つぎのことに注意して、本機を設置してください。

#### 水平な場所に置いてください。

設置する場所が、でこ ぼこや斜めの場合、き れいな印字ができませ ん。また、故障の原因 になり、プリンタの寿 命を短くする恐れがあ ります。



#### 振動のある場所には置かないでください。

振動のある場所には設置しない でください。また、ロール紙を 🗢 セットしたままプリンタを運ん だり、大きな振動を与えないで 🜠 ください。



高温・多湿の場所には置かないでください。

温度・湿度が高くなる 場所に設置しないでく ださい。 温度・湿度が高くなり ますと故障の原因にな ります。



#### ほこりを避けて使用してください。

ほこりがつくときれいに印字 できなくなることがありま す。また、故障の原因になる だけでなく、製品の寿命を短 くする恐れがあります。



#### 直射日光はきらいです。

本機は光学センサを内蔵 していますので、直射日 光が当たるとセンサが誤 作動を起こすことがあり ます。印字するときは必 ずカバーを閉じてくださ い。



#### クレーンやプレス機などのそばには置かない でください。

クレーンやプレス機など大容量の電気を使う機器 は、電気ノイズや電源の電圧低下を起こす原因に なります。本機の誤動作や故障のもとになります ので、これらの機器のそばに本機を置かないでく ださい。



#### ▲電源について

本機は、AC100Vの交流電源が必要です。



#### 電圧の低下などの変動が少ない電源から電気 を供給してください。

ヒーターや冷蔵庫などの消 費電力の大きい電気製品と 同じ電源や、その近くの電 源から電気を供給しないで ください。電源の電圧の低 下などにより誤動作を起こ すことがあります。



#### 必ずアース線を接続してください。

アース設備がない場合は、アース設備工事をおこ なってください。





本機を箱から出して設置します。 それでは箱を開けましょう。



※緩衝材(プリンタ押えのプロテクタパット等)の形状が 一部異なる場合があります。

# 添付品の確認

箱を開けたら、つぎの添付品が揃っているか確認してください。

もし、足りないものがありましたら、購入されました販売店・ディーラーまでお問い合わせください。



▲保証書と箱は大切に





本機は、正常なご使用のもとにおける故障については、納入より 6か月間を保証期間として無償修理いたします。修理をご依頼い ただくとき、添付の保証書によるユーザー登録が必要です。保証 書は大切に保管してください。万一、保証書を紛失されたとき は、修理が有償となりますのでご了承ください。

また、本機を梱包していた箱とプリンタ押え(緩衝材)も保管し てください。修理をご依頼いただくときに、この箱に本機を梱包 して送っていただきます。



## ▲プリンタ本体

ボリューム調整用ドライバ



## インタフェースボード オプションのインタフェースボードにより インタフェースを変更することができます。

#### カードスロット -

#### 電源スイッチ -

本機の電源を入れるとき、切るときに 使用します。 -側に押すと電源が入ります。 O側に押すと電源が切れます。







**ラベルストッパー** ロール紙を固定します。

供給ブラケット ロール紙をかけるブラケットです。

スライドローラ 用紙の横幅を固定します。

サーマルヘッド(消耗部品) 用紙に印字する部分です。 定期的にお手入れして ください。

プラテンローラ(消耗部品) 印字した用紙を送り出します。 定期的にお手入れして ください。

**ラッチレバー** サーマルヘッドのロックを解除します。

#### EXTコネクタ 外部信号インタフェース

AC入力電源端子(電源コネクタ)

電源コードを差し込み、本機に電源を供給します。



#### ▲操作パネル

操作メッセージやエラーメッセージが表示されます。 メッセージは、半角サイズの英数字で表示されます。



# 用紙のセット

本機はロール紙・ファンフォールド紙の用紙に印字することができます。 ロール紙とファンフォールド紙では、用紙のセットのしかたがちがいます。 本機は、アイマークをセンサで検知することにより、適切な印字を行います。

サトー純正用紙のご使用をお願いします。



# ロール紙のセット



—/1 注意

- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガする恐れがあります。用紙交換は、ケガをしないように注意して 行ってください。













# (ハクリユニット(工場オプション)

▲用紙のセット





## ▲ハクリ停止位置の調整

ハクリ時のラベル停止位置は、ラベルを2~3mm台紙に残す位置が正規の停止位置となります。 ラベルの停止位置が正規の位置にない場合、メインカバーに添付してあるボリューム調整用ドライ バのプラス側を使用して「OFFSET」ボリュームの調整を行います。

OLVN

#### 左回し:印字方向に対し後ろにラベル停止する



右回し:印字方向に対し前にラベル停止する

#### ★注意事項

- 1. 用紙の種類により使用できない場合があります。
- 2. ハクリ時の印字精度は、V(縦)方向±1.5mm、H(横)方向±1.0mmです。
- ハクリユニットは、ラベルピッチ25~356mmまで有効です。
   但し、使用条件によってラベルサイズを規制する場合があります。
- 5. 長期間台紙の巻取りを続けますと、内部にある部品の摩耗により動作できなくなります。部品の交換が必要となりますので、販売店・ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。
- 6. ボリューム調整後、2~5枚程度ラベルを発行することでハクリ時のラベル停止位置が安定します。

# 「カッタユニット(工場オプション)

▲用紙のセット位置







#### ▲カット位置の調整

カット位置が正規の位置にない場合、メインカバーに添付してあるボリューム調整用ドライバのプ ラス側を使用して「OFFSET」ボリュームの調整を行います。ラベルのカットは、のりがカッタ 刃に付いて切れを悪くしますので、絶対に避けてください。

左回し:印字方向に対し後ろにラベル停止する



右回し:印字方向に対し前にラベル停止する



#### ▲ミシン目のある用紙のカット

ミシン目のある用紙では、ミシン目およびミシン目の手前はカット禁止領域です。 動作不良の原因になります。

ミシン目およびミシン目の手前をカットしている場合、ミシン目の後ろでカットするようにボリュ ーム調整用ドライバのプラス側を使用して「OFFSET」ボリュームの調整を行います。



以下の項目は本機で使用できる用紙仕様となりますので、使用する前にご確認ください。 ①用紙厚さ(台紙含)は0.08mm~0.21mmです。

詳しくは、販売店・ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。 ②カット精度は±1.5mmです。

③カッタユニットは、カットピッチが25mm~359mmまで有効です。

但し、使用条件によってはカットサイズを規制する場合があります。

④ミシン目の+1mmは、カット禁止領域(図1)です。

⑤ファンフォールド紙の折りミシン目の+4mm~+25mmはカット禁止領域(図2)です。 ⑥ボリューム調整後、2~5枚程度ラベルを発行することで、 25mm





# カッタの交換

カッタを使用していきますと、切れが悪くなりカット面がケバ立ちます。 このような状態になりましたら、カッタユニットの交換が必要です。 その際は、販売店・ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。



# セットしたら確認してください

用紙をセットしたら、つぎのことを確認してください。

\*用紙は、きちんとセットしていますか。

\*用紙の種類は合っていますか。

\*サーマルヘッド部は閉じられていますか。

\*カバーは閉まっていますか。



用紙のセットが終ったら、電源コードのセット手順を説明します。

## 電源のセット

設置が終ったら、つぎのように電源をセットします。

## ▲電源コードとコンセント

電源コードのプラグをプリンタ本体に差し込 むときは、プラグの上下を確認してくださ い。

プリンタ本体に差し込むときは、本体を片手 で押さえて差し込んでください。

添付の電源コードのプラグの形は、イラスト のように3極タイプになっています。

3極タイプのプラグは3本の足のうち1本が アース用です。 電源コンセントが3極のときは、そのまま電 源コードを差し込んでください。







添付の電源コードを本体側、電源コンセント側の順に差し込みます。



電源コンセントが2極タイプのときは、添付の2極アダプタを使い電源コンセントに差し込んでください。

必ずアース線をアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。



• 本プリンタに付属の電源コードは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

注意

# 電源を入れてみましょう

電源スイッチを入れます。「-」と書いてある側を押してください。



電源を入れると、ディスプレイにつぎのように「ONLINE」と表示されます。



濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。 感電する恐れがあります。

# あれ?おかしいな

注意

今までおこなった準備が正しくできていないときは、ディスプレイに「ONLINE」と表示されません。準備が正しくできていないときは、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージが、表示されたときは(詳しくは「あれ?どうしたのかな?」を参照してください→45ページ)、 準備をし直してください。

# 電源を切りましょう

本機が正常に動いたことを確認したら、電源を切ってみましょう。 いきなり電源を切らないで、電源を切ってもよいかつぎのことを確認しましょう。

## ▲電源を切る前に確認してください

必ずつぎのことをおこなってから、電源を切ってください。

## オフライン状態にする

本機の電源を切るときは、オフライン状態になっていることを確認してください。 ディスプレイにつぎのように「ONLINE」と表示されているときは、オンライン状態になっていま す。 \_\_\_\_\_\_\_





本機を動かしてみましょう。本機を動かすのに必要な操作のしかたや知識を覚えてください。

# 動かしてみる前に

本機を本格的に動かしてみる前に、操作の流れを説明します。 本機は、操作パネルにある2つのキーで、簡単に操作できます。 5つの状態から、いろいろな操作をおこないます。

## ▲操作の流れ

本機はオンライン・オフライン・エラー・ユーザーモード・テストモードの5つの状態から操作を おこないます。

5つの状態と操作の流れをよく理解してください。



# 詳しい操作

本機の詳しい操作のしかたを説明します。

#### ▲オンライン操作

本機がオンライン状態のとき、つぎの操作ができます。

#### 【操作のしかた】

○本機に接続したコンピュータからデータを送り、印字動作をスタートさせます。
 ○[LINE]キーを押して、オフライン状態に切りかえたり、印字を中断することができます。

#### オンライン状態

本機が正常な状態で、印字可能な状態です。 ディスプレイに、つぎのように表示されます。

#### ONLINE QTY:000000

#### ▲オフライン操作

本機がオフライン状態のとき、つぎの操作ができます。

#### 【操作のしかた】

○LINE キーを押すと、オンライン状態に切りかえます。○FEED キーを押して、用紙送りをします。

#### オフライン状態

本機が印字停止している状態です。ディスプレイに、つぎのように 表示されます。

OFFLINE	
	000000
LINE	FEED

#### ▲印字キャンセル操作

本機が印字動作中に、[LINE]キーを押して印字を中断しているとき、印字データ及び受信バッファ をクリアする操作ができます。

#### 【操作のしかた】

〇印字動作中にLINE キーを押してオフライン状態に切りかえます。

○[LINE]キーを押しながら、[FEED]キーを押します。

ディスプレイにつぎのように表示されます。

CANCEL	PRINT	JOB
YES	NO	

LINE キーを押すとカーソルが移動します。

YESを選択し、FEEDキーを押すと印字データ及び受信バッファをクリアします。 NOを選択し、FEEDキーを押すとオンライン状態になります。 クリア中は、ディスプレイにつぎのように表示されます。 約3秒後、オフライン状態に変わります。 CANCEL PRINT JOB COMPLETED

#### ▲エラーモード操作

「あれ?どうしたのかな?」で説明します。→45ページ

#### ▲ユーザーモード設定操作

- ユーザーモード設定操作のとき、プリンタの印字条件を設定するつぎの操作ができます。
- ○「DARKNESS RANGE」(印字濃度レンジ設定)
- ○「PRINT DARKNESS」(印字濃度設定)
- ○「PRINT SPEED」(印字速度設定)
- ○「OFF SET」(基点補正設定)
- ○「ZERO SLASH」(ゼロスラッシュ切替え設定)
- ○「JIS CODE」(JIS漢字コード切替え設定)
- ○「KANJI MODE」(漢字フォント書体設定)
- ○「PROPOTIONAL PITCH」(プロポーショナルピッチ設定)
- ○「HEAD CHECK」(ヘッドチェック範囲設定)

各操作については、詳しくは「印字条件の設定」をご覧ください。

#### ▲ユーザーモード設定画面の呼び出し

本機の印字条件を設定するには、ユーザーモード設定画面を呼び出します。つぎに、各印字条件の 設定画面を呼び出します。

それでは、ユーザーモード設定画面を呼び出してみましょう。

[LINE]キーは、ブザーが鳴るまで押し続けてください(ブザーが鳴

まず、いったん電源を切ります。



LINE FUSE TO IT -

ディスプレイに、つぎのように表示されます。

[LINE]キーを押しながら電源を入れます。

ったらキーから指を離してください)。

USER MODE

表示がでたら、FEEDキーを押します。

FEED

FEEDキーを1回押すごとに、ディスプレイの表示がつぎのように変わります。

USER MODE	FEED+-	HEAD CHECK	[HEAD CHECK]
		MORMAL BARCODE	ヘッドチェック範囲設定
FEED+-	- -	FEED#	
DARKNESS RANGE	[DARKNESS RANGE]	PROPOTIONALPITCH	[PROPOTIONAL PITCH]
🖪 B C D E F	印字濃度レンジ設定	YES <u>N</u> O	プロポーショナルピッチ設定
FEED+-	_	↑ FEED‡	
PRINT DARKNESS	[PRINT DARKNESS]	KANJI MODE	[KANJI MODE]
1 2 🖪 4 5	印字濃度設定	MINCHO <u>G</u> OTHIC	漢字フォント書体設定
FEED+-		FEED‡	
PRINT SPEED	[PRINT SPEED]	JIS CODE	[JIS CODE]
2 🖪 4 5 6	印字速度設定	<u>I</u> IS SJIS	JIS漢字コード切替え設定
FEED+-	_	FEED‡	
OFFSET	[OFF SET]	ZERO SLASH	[ZERO SLASH]
V: <b>H</b> 000 H:+000	基点補正設定 FEED キー	YES <u>N</u> O	ゼロスラッシュ切替え設定

#### 印字条件の設定

ユーザーモード設定状態で、各印字条件の設定をしてみましょう。

設定する前に、本機がユーザーモード設定状態になっているか、ディスプレイの表示を確認してください。

USER MODE

ディスプレイの表示が、ユーザーモードになっていなかったら、いったん電源を切ってください。 [LINE]キーを押しながら、電源を入れ直してください。

注意	
<ul> <li> <b>設定の登録</b>         各印字条件の設定を登録するためには、設定が終った後、         FEED         FEED             キーを1回押してください。             設定が登録され、つぎの設定画面が表示されます。         </li> </ul>	USER MODE
FEEDキーを押さないかぎり、設定は登録されませんので注意し てください。	FEED

FEED キーを1回押します。ディスプレイにつぎのように表示されます。

#### ①印字濃度レンジ設定

印字濃度レンジを変更することでお客様ご使用の用紙種にあった印 字品質を得ることができます。 印字濃度レンジ設定画面が、つぎのようにディスプレイに表示され ているか確認してください。



#### 【操作のしかた】

AからFまでは、印字濃度のレンジを表します。 A=MT400eシリーズにてご使用の用紙 B、C、D、E、Fにつきましては担当営業員にお問い合わせください。 カーソルのある値が、設定された濃度レンジになります。 LINE キーを押すとA→B→C→D→E→F→Aの順に移動します。 FEED キーを押すと設定が登録され次の設定画面に変わります。 初期値はAになります。

#### ②印字濃度設定

印字の濃度(濃さ)を、5段階で設定できます。 印字濃度設定画面が、つぎのようにディスプレイに表示されている か確認してください。



#### 【操作のしかた】

1から5までの数字は、印字の濃度(濃さ)を表します。1が一番薄く、5が一番濃くなります。 <u>LINE</u>キーでカーソルを移動し、数字を選び、印字の濃度を設定します。 <u>LINE</u>キーを1回押すと、カーソルが数字1桁右に移動します。 <u>FEED</u>キーを押すと、設定が登録されつぎの設定画面に変ります。 初期値は3になります。

#### ③印字速度設定

印字の速度(速さ)を、5段階に設定できます。 用紙又は印字内容によって、良い印字品質が得られないときは、速 度を下げてください。 印字速度設定画面が、つぎのようにディスプレイに表示されている か確認してください。



#### 【操作のしかた】

2から6までの数字は、1秒間に何インチ(1インチ=約25mm)印字できるかという印字の 速度を表します。 2インチ/sが一番遅く、6インチ/sが一番速くなります。 [LINE]キーでカーソルを移動し、数字を選び、印字の速度を設定します。 [FEED]キーを押すと、設定が登録されつぎの設定画面に変わります。 初期値は3インチ/sになります。

#### ④基点補正設定

基点補正設定画面が、つぎのようにディスプレイに表示されている か確認してください。

#### MT400eの設定画面



#### 基点補正

基点補正とは、用紙に印字する位置を設定する操作です。

本機には、最初から印字の基準となる位置(印字基準位置)が記憶されています。この印字基準位置からどれくらい離れた位置(基点)に印字するか設定します。

本機では印字基準位置から印字したい位置までの距離をドット単位で設定します。1ドットの長さ は機種によって違います。MT400eは1ドット=0.125mm、MT410eは1ドット=0.083mm です。

したがってMT400eでは8ドット=1mm、MT410eでは12ドット=1mmとなります。

V:印字基準位置から、縦方向に何ドット離れた位置を基点にして印字するかを設定します。

"+"と"-"は移動する方向です。

- "+":印字方向に対し後ろ
- "-"印字方向に対し前

H:印字基準位置から、横方向に何ドット離れた位置を基点にして印字するかを設定します。

- "+"と"-"は移動する方向です。
- "+":フレーム側(奥側)
- "-":カバー側(外側)

注意事項:ヘッドの密度により補正画面が異なりますのでご注意ください。

MT400e:V±000~400ドット

H±000~400ドット

MT410e:V±0000~1700ドット

H±000~400ドット

#### 【操作のしかた】

#### 1 基点位置補正操作

基点位置補正操作画面がディスプレイに表示されると、V(縦方 向)の+の下にカーソルがきています。 <u>LINE</u>キーを1回押すたびに+と-に表示が変わります。 <u>FEED</u>キーを押すたびにカーソルが移動します。

#### 2 V(縦方向)の移動ドット数の設定

カーソルが、V(縦方向)の数字の下にあります。 <u>LINE</u>キーを1回押す度に数字が1つ上がります。 <u>LINE</u>キーを押して合わせたい数字に設定します。 <u>FEED</u>キーを押して設定を登録します。 カーソルが、H(横方向)の"+"の下にあります。











#### 3 H (横方向)の移動方向の設定

カーソルが、H (横方向)の "+" の下にあります。 |LINE|キーを]回押す度に "+" と "-" に変わります。 [LINE]キーを押して、移動したい方向に合わせます。 FEEDキーを押して、設定を登録します。 カーソルが、H(横方向)の数字の下に移動します。

#### 4 H(横方向)の移動ドット数の設定

カーソルが、H(横方向)の数字の下にあります。 LINE キーを1回押す度に数字が1つ上がります。 [LINE]キーを押して合わせたい数字に設定します。 FEEDキーを押して設定を登録します。 初期値は、縦基点補正Oドット、横基点補正Oドットになります。

## 【設定しましょう】

それでは実際に設定してみましょう。 MT400eで印字基準位置から 縦(V) 方向に+40ドット(5mm) 横(H)方向に+80ドット(10mm) 離れた位置を基点として、右の図のように印字することにします。

ディスプレイに、基点補正設定画面が表示されていることを確認し てください。

LINE キーで移動したい方向、合わせたい数字に設定し、 FEED キ ーで設定の登録を行い、つぎの画面表示にしてください。

FEED キーを1回押します。

ディスプレイの画面は、ゼロスラッシュ切替え設定画面に変わります。 これで基点補正の設定は終わりです。

#### ⑤ゼロスラッシュ切替え設定

ゼロスラッシュ(漢字は除く)を"O"又は、"O"に設定できます。 ゼロスラッシュ切替え設定画面がつぎのようにディスプレイに表示さ れているか確認してください。



#### 【操作のしかた】

表示の "YES (0) " と "NO (0) " が印字するゼロスラッシュを表します。 [LINE]キーでカーソルを移動し、ゼロスラッシュを設定します。 [FEED]キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。 ディスプレイの画面は、JIS漢字コード切替え設定画面に変わります。 初期値は "NO (O)"になります。

OFFSET V:+000 Н: 000 LINE FEED



#### ⑥JIS漢字コード切替え設定

取り扱うJIS漢字コードをJISコード、シフトJISコードに設定できます。

JIS漢字コード切替え設定画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。

#### 【操作のしかた】

表示の"JIS"、"SJIS"が取り扱うJIS漢字コードを表します。 [LINE]キーでカーソルを移動し、JIS漢字コードを設定します。 [FEED]キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。 ディスプレイの画面は、漢字フォント書体設定画面に変わります。 初期値は、JISコードになります。

#### ⑦漢字フォント書体設定

漢字フォント書体の "ゴシック体"、"明朝体" を選択することができます。

漢字フォント書体設定画面がつぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。

# KANJI MODE MINCHO COTHIC

#### 【操作のしかた】

表示の"MINCHO"、"GOTHIC"が漢字フォント書体を表します。 [LINE]キーでカーソルを移動し、漢字フォント書体を設定します。 [FEED]キーを押すと設定が登録されつぎの設定画面に変わります。 ディスプレイ画面は、プロポーショナルピッチ設定画面に変わります。 初期値は、ゴシック体になります。

#### ⑧プロポーショナルピッチ設定

プロポーショナルピッチ処理を設定することができます。 プロポーショナルピッチ設定画面が、つぎのようにディスプレイに 表示されているか確認してください。

対象フォントは、×21~24となります。

#### 【操作のしかた】

表示の"YES"(有効)、"NO"(無効)がプロポーショナルピッチ処理の有効、無効を表します。 LINE キーでカーソルを移動し、有効、無効を設定します。 FEED キーを押すと設定が登録されつぎの設定画面に変わります。 ディスプレイの画面はヘッドチェック範囲設定画面に変わります。 初期値は、無効になります。





#### ⑨ヘッドチェック範囲設定

ヘッドチェックを行う範囲を印字領域、バーコード印字領域に設定 できます。

ヘッドチェック範囲設定画面が、つぎのように表示されているか確認してください。

表示の "NORMAL (印字領域) "、 "BARCODE (バーコード印 字領域) "がヘッドチェック範囲を表します。

LINEキーでカーソルを移動し、ヘッドチェック範囲を設定します。

[FEED]キーを押すと設定が登録され、ユーザーモードの最初の画面に戻ります。

初期値は、印字領域になります。

#### 【ヘッドチェック機能について】

ヘッドチェック機能はヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証する機能ではありません。定 期的に読取りチェックをお願いします。

(印字の白抜けとヘッドチェック機能が働く時期とは多少ずれが生ずることがあります。) ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字したバーコードのスキャナ読取りを行って 確認してください。

〈ヘッドエラー発生時の対処方法〉

①ヘッドチェック範囲設定が印字領域の場合ヘッドエラーのメッセージ画面が表示されます。

- FEED キーを5秒間押すと、ヘッドチェック範囲設定画面が表示されます。
- ・ "NORMAL"を選択すると、ヘッドチェック範囲は印字領域のまま発行を再開します。 再度ヘッドエラーのメッセージ画面が表示されます。
- ・ "BARCODE"を選択すると、ヘッドチェック範囲をバーコード印字領域に切り替えて発行 を再開します。
- ②ヘッドチェック範囲設定がバーコード印字領域の場合ヘッドエラーのメッセージ画面が表示されます。

●LINE キー、 FEED キーを5秒間押すと、ヘッドチェックを解除して発行を再開します。

これでユーザーモード設定操作による、プリンタ設定が終了しました。ユーザーモード設定を終了 するには、一度電源を切ってください。

変更した設定値は、つぎに電源を入れることで有効となります。

#### ▲テストモード操作

#### テスト印字をしてみましょう。

プリンタの電源が入っていたら、いったん電源を切ってください。 [FEED]キーを押しながら、電源を投入します。 [FEED]キーは、ブザーが鳴るまで押し続けてください(ブザーが鳴 ったらキーから指を離してください)。 ブザーが鳴りディスプレイにつぎのように表示されます。



HEAD CHECK

LINE

BARCODE

FEED

NORMAL

テスト印字パターンを選択します。 LINE キーを押すたびに表示がかわります。 "SETTING" 本機設定内容を印字します。 "BARCODE" 本機に搭載しているバーコードを印字します。 "HEADCHECK" 選択している用紙サイズ領域のヘッドチェックパターンを印字します。 "MEMORY" 本機に搭載している拡張メモリ内容を印字します。 "FONT" 本機に搭載しているフォント内容を印字します。 "FACTORY" 工場テスト印字を行ないます。 TEST PRINT SIZE LINEキーを押して印字したいパターンに合わせます。 1 I C M FEED キーを押します。 LINE FEED

テスト印字の用紙サイズを選択します。 <u>LINE</u>キーを1回押すたびに数字が1つ上がります。 用紙サイズは、1cm単位になります。 4CM→5CM→6CM→7CM→8CM→9CM→10CM→11CM <u>FEED</u>キーを押します。(用紙サイズを決定します。)

テスト印字を開始します。

USER TEST PRINT PRESS FEED KEY

テスト印字を止めるためには、「FEEDキーを1回押します。 再度、「FEEDキーを押すとテスト印字が再スタートします。 ユーザーテスト印字モードを終了するには、プリンタの電源を切ってください。

## ▲アドバンスドモード操作

ユーザーモードから[LINE]キーを押しながら、[FEED]キーを押します。

ディスプレイにつぎのように表示されます。



[FEED]キーを押すと、ディスプレイにつぎのように表示されます。 ※MT410eのみ表示されます。

基本ドットサイズ1DOT(0.083mm)、2DOT(0.166mm) を選択することができます。 [LINE]キーを押すとカーソルが移動します。

1DOT選択の場合、基本ドットサイズが0.083mmになります。 2DOT選択の場合、基本ドットサイズが0.166mmになります。 FEEDキーを押します。基本ドット構成が決定され、ディスプレイ がつぎのように表示されます。



電源投入時に、自動でオンライン状態にするか設定を行うことがで きます。

[LINE]キーを押すとカーソルが移動します。

YES選択の場合、起動後、オンライン状態になります。 NO選択の場合、起動後、オフライン状態になります。

[FEED]キーを押します。オートオンライン状態が決定され、ディス プレイにつぎのように表示されます。

電源投入時に、必ず用紙フィード動作を行うかを設定することがで きます。

[LINE]キーを押すとカーソルが移動します。

YES選択の場合、起動後、用紙フィードを行います。

NO選択の場合、起動後、用紙フィードは、行いません。

[FEED]キーを押します。初期フィードが決定され、ディスプレイに つぎのように表示されます。

電源投入時の1回目のオンラインとヘッドオープン後のオンライン 時に、必ず用紙フィード動作を行うかを設定することができます。 <u>LINE</u>キーを押すとカーソルが移動します。

YES選択の場合、起動後、用紙フィードを行います。 NO選択の場合、起動後、用紙フィードは、行いません。 [FEED]キーを押します。オンラインフィードが決定され、ディスプ レイにつぎのように表示されます。

ACK信号の出力タイミング設定を行います。BUSY信号の内、又は終了後のどちらかを選択することができます。

LINE キーを1回押すとON状態に、もう一度 LINE キーを1回押すとOFF状態になります。(ONの場合は、BUSY信号の終了後、OFFの場合は、BUSY信号の内側になります。)
 FEED キーを押します。ACK信号出力タイミングが決定され、デ

ィスプレイにつぎのように表示されます。

FAULT信号タイミングを設定します。FAULT信号をSELECT信号と同期する動作にするか、しないかを選択することができます。 [LINE]キーを1回押すとON状態に、もう一度[LINE]キーを1回押す とOFF状態になります。(ONの場合は、SELECT信号と同期しま す。OFFの場合は、非同期になります。) [FEED]キーを押します。FAULT信号タイミングが決定され、ディ

スプレイにつぎのように表示されます。











IEEE1284のACK幅の設定をします。(IEEE1284ボードが装着 されていて、1アイテム受信設定時のみ表示) ACK信号幅を0.1 $\mu$ s単位で設定する事ができます。 LINE キーを押す毎に0.1 $\mu$ s単位で加算します。10.0 $\mu$ sが最大 です。(00.5→00.6→・・・→10.0→00.5) FEED キーを押します。IEEE1284のACK幅が決定され、ディス プレイにつぎのように表示されます。

アドバンスドモードを終了するには、プリンタの電源を切ってください。

#### ▲カードモード操作

アドバンスドモードから <u>LINE</u>キーを押しながら、 <u>FEED</u>キーを押 します。

ディスプレイにつぎのように表示されます。

[FEED]キーを押すと、ディスプレイにつぎのように表示されます。

カードドライブのドライブ番号設定を行います。カードドライブを ドライブ1 (本体メモリをドライブ2)にするか、ドライブ2 (本 体メモリをドライブ1)にするかの設定を行います。 LINE]キーを押すとカーソルが移動します。 1を選択すると、カードスロットが「ドライブ1」になり、本体メモ リが「ドライブ2」になります。2を選択すると、カードスロットが 「ドライブ2」になり、本体メモリが「ドライブ1」になります。 [FEED]キーを押します。設定内容を決定します。 ディスプレイにつぎのように表示されます。

漢字アウトラインカードのコピーを選択します。漢字アウトライン カードを本体メモリへコピーします。

LINE キーを押すとカーソルが移動します。Nを選択すると、コピーを行いません。Yを選択すると、カードスロットに装着されたアウトラインカードを、本体メモリヘコピーします。

[FEED]キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。

TRUETYPEフォントが収納されているカードから、TRUETYPE フォントデータを本体メモリヘコピーします。

LINE キーを押すとカーソルが移動します。Nを選択すると、コピーを行いません。Yを選択すると、カードスロットに装着されたカードからTRUETYPEフォントデータを本体メモリヘコピーします。 FEED キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。





CARD	MODE		
	INE	FEED	

CARD	DRI	VΕ	N O.	
	1		2	
L	INE	F	EED	





SATOフォントが収納されているカードから、SATOフォントデー タを本体メモリへコピーします。

LINE キーを押すとカーソルが移動します。Nを選択すると、コピーを行いません。Yを選択すると、カードスロットに装着されたカードからSATOフォントデータを、本体メモリヘコピーします。 FEED キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。

カードに収納されている全てのデータを、本体メモリへコピーします。

LINE キーを押すとカーソルが移動します。Nを選択すると、コピーを行いません。Yを選択すると、カードスロットに装着されたカードの全てのデータを、本体メモリヘコピーします。

FEEDキーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。

本体メモリに収納されている全てのデータを、カードへコピーします。

LINE キーを押すとカーソルが移動します。Nを選択すると、コピーを行いません。Yを選択すると、本体メモリの内容、全てをカードへコピーします。

[FEED]キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。

プログラムデータが収納されているカードから、本体メモリへコピーします。

LINE キーを押すとカーソルが移動します。Nを選択すると、コピーを行いません。Yを選択すると、カードスロットに装着されたカードからプログラムデータを、本体メモリヘコピーします。

[FEED]キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。

本体メモリに収納されているプログラムデータを、カードへコピーします。

LINE キーを押すとカーソルが移動します。Nを選択すると、コピー を行いません。Yを選択すると、本体メモリに収納されているプログ ラムデータをカードスロットに装着されたカードへコピーします。 FEED キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。

カードスロットに装着された、カードをフォーマット(初期化)し ます。

LINE キーを押すとカーソルが移動します。NOを選択すると、フォーマット(初期化)を行いません。YESを選択すると、フォーマット(初期化)を行います。

[FEED]キーを押します。YESが選択された場合、フォーマット処理を実行します。













本体メモリをフォーマット(初期化)します。

LINE キーを押すとカーソルが移動します。NOを選択すると、フ ォーマットを行いません。YESを選択すると、フォーマット(初 期化)を行います。

[FEED]キーを押します。YESが選択された場合、フォーマット処理を実行します。

カードモードを終了するには、プリンタの電源を切ってください。

MEMORY YES	FORMAT NO	
	FEED	

CARD	MOD	E	
	INE	FEED	

## ※コピー中のメッセージ

カードコピーを実行すると、ディスプレイにつぎのように表示されます。





# 通常は使用しないでください。印字条件が変更されます。

#### 初期値設定(デフォルトセット)

初期値とは、本機がはじめから記憶している設定値です。 この初期値設定をおこなうと、いままでの印字条件の設定値を本機が記憶している設定値に戻します。

#### 【操作】

プリンタの電源が入っていたら、いったん電源を切ってください。 [LINE]キーと[FEED]キーを同時に押しながら、電源を入れます。 ブザーが鳴るまで[LINE]キーと[FEED]キーを押し続けてください。 ディスプレイにつぎのように表示されます。



LINE キーを押してYESを選択後、FEED キーを押すとデフォルトセットを行います。 終了する時は、電源を切ってください。

デフォルトセットを終了するとブザーが3回鳴り、ディスプレイにつぎのように表示されます。



<b>小白石</b>		スキャントロニクス	수명소 2	
	設定項日	スキャントロニクスMT400e	スキャントロニクスMT410e	参照ヘーシ
<u>-</u>	ーザーモード			
	印字濃度レンジ	А	А	25
	印字濃度	3	3	25
	印字速度	3	3	25
基点補正		V : +000 H : +000	V : +0000 H : +000	26、27
	ゼロスラッシュ切替え	NO	NO	27
	JIS漢字コード切替え	JIS	JIS	28
	漢字フォント書体	GOTHIC	GOTHIC	28
	プロポーショナルピッチ	NO	NO	28
	ヘッドチェック範囲	NORMAL	NORMAL	29
ア	ドバンスドモード			
	基本ドット構成	_	1 DOT	30
	オートオンライン	YES	YES	31
	初期フィード	NO	NO	31
	オンラインフィード	NO	NO	31
	セントロニクス			
	インタフェースボード	OFF	OFF	31
	ACK信号			
	セントロニクス			
	インタフェースボード	OFF	OFF	31
	FAULT信号			
	IEEE1284パラレル			
	インタフェース	0.5 <i>µ</i> S	0.5 <i>µ</i> S	32
ACK幅				

ユーザーモード設定操作、アドバンスドモード設定操作の各設定値が次の初期値に戻ります。

#### ▲ディップスイッチによる設定

操作部の下にあるディップスィッチは、プリンタの動作を決める重要なスイッチです。 間違えて設定しますとプリンタは正常に動作しません。 プリンタの動作を十分理解した上で、設定してください。

#### 電源を切ってあることを確認してください。

ディップスイッチ表により設定したい条件にディップスイッチを設定します。 ディップスイッチの設定は、電源を入れ直したときに有効になります。

注意

• メインカバーの開閉には、指をはさまないように注意してください。

• 詳しくは、販売店・ディーラーまたは、サポートセンターにお問い合わせください。

	スキャントロニクスMT400eシリーズ プリンタ ディップ・スイッチ表(DSW2)			
NO	機能	説明		
1	工場設定用	通常OFF(変更しないでください。)		
2	センサ設定	ON :未使用		
		OFF:反射式 (アイマーク)		
3	ヘッドチェック※	ON :有効		
		OFF:無効		
4	HEXダンプモード	ON :有効		
		OFF:無効		
5	受信モード	ON : 1アイテム受信		
		OFF:マルチ受信		
		※LANの場合は、OFF→周期応答ステータス		
		ON →ENQ応答ステータス		
6	ダウンロードモード	ON :有効		
		OFF:無効		
7	工場設定用	通常OFF(変更しないでください。)		
8	印字領域設定	ON :178mm(MT400/410互換モード)		
		0 F F : 400mm		

※ヘッドチェック機能について

ヘッドチェック機能(DSW2-3「ON」)は、ヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証する機能ではありません。 定期的に読取りチェックをお願いします。

	スキャントロニ	クスMT400eシリーズ	プリンタ	ディップ・	、スイッチ表(	DSW3)	
NO	機能		説	り	]		
1	動作モード設定	3-1 3-2 3-3 3-4	センサ	モード	動作	バックフィード	
	(連続・ティアオフ・	OFF OFF OFF OFF	有効	連続			
	カッタ・ハクリ)	ON OFF OFF OFF	有効	ティアオフ			
		OFF ON OFF OFF	有効	ハクリ	センサ	無し	
2		ON ON OFF OFF	有効	ハクリ	センサ	有り	動作1
		OFF OFF ON OFF	有効	ハクリ	パルス	無し	
		ON OFF ON OFF	有効	ハクリ	パルス	有り	動作1
		OFF ON ON OFF	有効	ハクリ	パルス	有り	動作2
		ON ON ON OFF	有効	カッタ	シートエンド	無し	
З		OFF OFF OFF ON	有効	カッタ	シートエンド	有り	動作1
		ON OFF OFF ON	有効	カッタ	シートエンド	有り	動作2
		OFF ON OFF ON	無効	連続			
		ON ON OFF ON	無効	カッタ	シートエンド	無し	
		OFF OFF ON ON	無効	カッタ	シートエンド	有り	動作1
4		ON OFF ON ON	有効	カッタ	パルス	有り	動作1
		OFF ON ON ON	有効	カッタ	パルス	有り	動作2
		ON ON ON ON	無効	カッタ	パルス	有り	動作1
5	工場設定用	通常OFF(変更しない <sup>-</sup>	でください	。)	-		
6	外部信号切替え	ON -ON :TYI	PEI				
7		ON -OFF:TY	PEI				
		OFF-ON : TYI	PEⅢ				
		OFF-OFF: TY	PEN				
8	外部信号再発行	ON :有効					
		OFF:無効					

※通常は、網かけのしてある部分のみ指定してください。

- 「シートエンド」 印字動作、ラベルフィード動作後にラベルをカットします。
- 「パルス」 本機の後部にある「EXT(外部信号)」を使用して動作を行ないます。
- 「動作1」 発行→用紙送り→カット動作→バックフィードとなります。
- 「動作2」 バックフィード→発行→用紙送り→カット動作となります。

※詳細については、アクセサリCD-ROMのマニュアルを参照してください。

# 連続印字とティアオフ

本プリンタの動作モードでは、オプション(カッタやハクリ)を使用しない動作モードとして、連 続印字動作とティアオフ動作があります。

### 連続印字動作モード

連続印字動作モードとは、指定された印字枚数分を続けて印字するモードで、印字終了後、又は、 1枚フィードの時には、次の印字開始位置がサーマルヘッド位置で停止します。



#### ティアオフ動作モード

ティアオフ動作モードとは、指定された印字枚数分を続けて印字した後、ラベルとラベルの間(台 紙部)を簡易カッタの位置まで自動的に送り出します。

この動作により、印字終了後に手で簡単に用紙を切り取ることができます。

又、つぎの印字を行なう時には、用紙の先端がサーマルヘッド位置までもどり、印字を開始しま す。



## ○インタフェースボードの設定

▲ RS-232C

RS-232Cインタフェースボード(オプション)には、通信条件を決めるディップスイッチがあります。 ディップスイッチを変更するためには、①プリンタの電源を切り、②RS-232Cケーブルを取り外し、③ RS-232Cインタフェースボード(オプション)の取り付けネジを2本取り外し、④RS-232Cインタフェー スボード(オプション)を取り外してから行ってください。



	スキャントロニクスMT400eシリーズ RS-232Cインタフェースボード ディップスイッチ表			
NO	機能	説	明	
1	データ長設定	ON :7ビット		
		0FF:8ビット		
2	パリティビット設定	OFF-OFF:無し		
3		OFF-ON :偶数		
		ON -OFF:奇数		
		ON -ON :未使用		
4	ストップビット設定	ON :2ビット		
		OFF:1ビット		
5	ボーレート設定	OFF-OFF:9600bps		
6		OFF-ON : 19200bps		
		ON - OFF: 38400bps		
		0N -0N :57600bps		
7	通信プロトコル設定	1-7 1-8 互換モードOFF	互換モードON	
8		OFF-OFF:READY/BUSY	READY/BUSY	
		OFF-ON XON/XOFF	XON/XOFF	
		ON -OFF:ドライバ専用プロトコル	ステータス3	
		ON -ON :未使用	未使用	

※RS-232Cインタフェースボードの設定1シールを確認してください。 通信プロトコル設定は互換モードによって異なります。

• インタフェースボードの取り付け、取り外しを行うときは、必ず、プリンタ本体の電源を切ってから行って ください。インタフェースボードやプリンタ本体を破損する恐れがあります。

注意

#### ▲ LAN

LANインタフェースボード(オプション)には、LAN設定情報初期化、LAN設定情報印字、自己診断印字 するディップスイッチがあります。ディップスイッチを変更するためには、①プリンタの電源を切り、② LANケーブルを取り外し、③LANインタフェースボード(オプション)の取り付けネジを2本取り外し、④ LANインタフェースボード(オプション)を取り外してから行ってください。



	スキャントロニクスMT400eシリーズ LANインタフェースボード ディップスイッチ表
NO	ONにしてプリンタの電源を入れたときの動作
1	未使用
2	LANインタフェースボード設定情報初期化
3	LANインタフェースボード設定情報印字(IPアドレス等の設定情報を印字します)
4	LANインタフェースボード自己診断印字(LANインタフェースボードの診断結果を印字します)

※通常使用する時は全てOFFに設定してください。

#### ▲ 無線LAN

無線LANインタフェースボード(オプション)には、LAN/無線LAN設定情報初期化、LAN/無線LAN設定 情報印字、自己診断印字、通信モードを設定するディップスイッチがあります。

ディップスイッチを変更するためには、①プリンタの電源を切り、②LANケーブルを接続している場合は LANケーブルを取り外し、③無線LANインタフェースボード(オプション)の取り付けネジを2本取り外し、 ④無線LANインタフェースボード(オプション)を取り外してから行ってください。



	スキャントロニクスMT400eシリーズ 無線LANインタフェースボード ディップスイッチ表		
NO	ONにしてプリンタの電源を入れたときの動作		
1	未使用		
2	無線LANインタフェースボード設定情報初期化		
3	無線LANインタフェースボード設定情報印字/自己診断印字		
	(IPアドレス等の設定情報の印字と無線LANインタフェースボードの診断結果を印字します)		
4	通信モード	ON : Infrastructure	
	(無線LAN動作の場合)	OFF: Ad Hoc	

LANケーブルを接続して電源を投入すると、LANインタフェースで起動します。 LANケーブルを接続せずに電源を投入すると、無線LANインタフェースで起動します。



ディスプレイ画面遷移図



# あれ?どうしたのかな?

ディスプレイにエラーメッセージが表示されたとき、本機はエラー状態になります。こんなとき、 どうしたらよいか説明します。また、本機の操作をしていてうまくいかなかったときはこの章を お読みください。

## ▲エラーメッセージがでたけれど

ディスプレイにエラーメッセージを表示したとき、プリンタはエラー状態になります。こんなとき どうしたらよいか説明します。

また、プリンタを操作していて、うまくいかないときもこの章をお読みください。

エラー 番号	ディスプレイ	説明	
01	MACHINE ERROR 01	マシンエラーの画面です。 原 因:基板の不良です。 対 策:販売店・ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音:長音1回 外部信号:マシンエラー	
02	EEPROM ERROR 02	EEPROMエラーの画面です。 原 因:EEPROM回数オーバー。 対 策:販売店・ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音:長音1回 外部信号:マシンエラー	
03	PARITY ERROR 03	<ul> <li>パリティエラーの画面です。</li> <li>原 因:①RS-232Cの通信条件が合っていない。</li> <li>②ケーブル接続異常。</li> <li>対 策:①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。</li> <li>③ケーブルの接続を確認してください。</li> <li>警告音:短音3回</li> <li>外部信号:マシンエラー</li> </ul>	
04	OVERRUN ERROR 04	オーバーランエラーの画面です。 原 因:①RS-232Cの通信条件が合っていない。 ②ケーブル接続異常。 対 策:①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ③ケーブルの接続を確認してください。 警告音:短音3回 外部信号:マシンエラー	
05	FRAMING ERROR 05	フレーミングエラーの画面です。 原 因:①RS-232Cの通信条件が合っていない。 ②ケーブル接続異常。 対 策:①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ③ケーブルの接続を確認してください。 警告音:短音3回 外部信号:マシンエラー	
06	BUFFER OVER 06	バッファオーバーの画面です。 原 因:①受信バッファを超えるデータを受信した場合。 ②通信プロトコルが合っていない。(制御信号やデータを無視し、ホストよりデー タが送信された場合) 対 策:通信プロトコルに合うようにシステムを修正してください。 警告音:短音3回 外部信号:マシンエラー	
07	HEAD OPEN 07	ヘッドオーブンの画面です。 原 因:ヘッドがロックされていません。 対 策:ヘッドをロックしてください。 警告音:短音3回 外部信号:マシンエラー	

エラー 番号	ディスプレイ	説明
08	PAPER END 08	ペーパーエンドの画面です。 原 因:用紙がありません。 対 策:用紙を正しくセットしてください。 警告音:短音3回 外部信号:ペーパーエンド
10	SENSOR ERROR 10	センサエラーの画面です。 原 因:用紙蛇行(用紙位置のセットが正しくありません) 対 策:用紙搬送ルートの清掃を行ってください。 (用紙のセット位置を確認してください。) それでもメッセージが表示された場合は、販売店・ディーラー、またはサポートセ ンターにご連絡ください。 警 告 音:短音3回 外部信号:マシンエラー
11	HEAD ERROR	<ul> <li>ヘッドエラーの画面です。</li> <li>原 因:ヘッドに異常があります。</li> <li>対 策:ヘッドの清掃を行い、再確認してください。</li> <li>それでもメッセージが表示された場合は、販売店・ディーラー、またはサポートセンターにご連絡ください。</li> <li>警告音:短音3回</li> <li>外部信号:マシンエラー</li> </ul>
13	CARD R/W ERROR 13	カードリード/ライトエラーの画面です。         原       因:①カードが装着されていません。         ②登録されていない番号で呼び出しを行った時。         ③フォーマットされていない時。         ④カードプロテクト状態で登録を行った時。         対       策:①カードを確認してください。         ②ホストのプログラムを確認してください。         ③カードのフォーマットを行ってください。         ④カードのプロテクトを外してください。         警告音:長音1回         外部信号:マシンエラー
14	CARD LOW BATTERY	カードローバッテリーの画面です。(起動時と使用時にチェックします。) 原 因:カード内の電池が消耗している時。 対 策:カード内の電池をすみやかに交換してください。 (カード内のデータが消去されるケースがあるので、カードのフォーマットと登録 を行ってください。) 警 告 音:長音1回 外部信号:マシンエラー
15	CUTTER ERROR	カッタエラーの画面です。 原 因:①カッタ部で用紙ジャムが発生した場合。 ②カッタ部のスリットが正しく動作しない。 対 策:①カッタ部の清掃をしてください。 ②販売店・ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。 警告音:短音3回 外部信号:マシンエラー

エラー 番号	ディスプレイ	説明	
16	DOWNLOAD ERROR 16 R/W ERROR	プログラム/フォントダウンロードエラーの画面です。 [EEED]キーを押すとダウンロード待ち画面に戻ります。 ※下段表示エラー、"R/W"(16)、"NOTAREA"(17)。 原 因:①ダウンロード中にリード/ライトエラーが発生した。 ②ダウンロード領域が無い。	
17	DOWNLOAD ERROR 17 NOTAREA ERROR	対 策:①ダウンロードファイルを確認してください。 ②ダウンロードファイルサイズを確認してください。 プリンタ内部の登録エリアを確認してください。 警告音:短音3回	
18	CARD COPY/FORMAT 18 R/W ERROR	カードコピー/フォーマットエラーの画面です。 「EEEDキーを押すと元の選択画面に戻ります。 ※下段表示エラー、"R/W"(18)、"NOTCARD"(19)、"NOTAREA"(20)。 原 田:のコピー中にリード/ライトエラーが発生した。	
19	CARD COPY/FORMAT 19 NOTCARD ERROR	<ul> <li>尿 D. ①コビーΨにリート/フィトエフーが発生した。</li> <li>②カードが装着されていない。</li> <li>③コピー領域が無い。</li> <li>対 策:①コピーファイルを確認してください。</li> <li>③カードを装着してください。</li> </ul>	
20	CARD COPY/FORMAT 20 NOTAREA ERROR	③コピー領域(サイズ)を確認してください。 警告音:短音3回	
21	KANJI ROM ERROR 21	漢字ROMエラーの画面です。 原 因:漢字ROMのアクセスエラー 対 策:販売店・ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。 警告音:短音3回	

## ▲あれ?メッセージが無いのにブザー音が…

コマンド記述の誤り、又は印字領域指定が誤っています。 対応方法:プログラムを見直してください。

### ▲こんなときは?

本機の操作をしてもうまくいかなかったときは、つぎのことを確認してみてください。

# 電源を入れてもディスプレイに何も表示されない



	【確認してください】	【直しかた】
1	電源コンセントに、電源コードがしっかりと差し 込まれていますか?	電源コードを、コンセントにしっかりと差し込み 直します。
2	本機に、電源コードがしっかりと差し込まれてい ますか?	電源コードを、本体の電源コネクタにしっかりと 差し込み直します。
З	電源コードがいたんでいませんか?	電源コードを取り替えてください。 新しい電源コードは、本機を購入された販売店・ ディーラーで必ず本機専用の電源コードをお求め ください。本機専用の電源コード以外は絶対に使 用しないでください。
4	本体のヒューズが切れていませんか?	本体背面にあるヒューズを確認してください。 ヒューズが切れていたら、市販の同等のヒューズ と交換してください。交換後、再度切れた場合 は、販売店・ディーラーまたはサポートセンター にお問い合わせください。
5	本機の電源を取っている電源コンセントに電気が きていますか?	電源コンセントのもと電源を調べてください。も と電源に問題がないときは、建物全体に電気がき ているか調べてください。停電の可能性も調べて ください。
6	建物の電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか?	建物の電源ヒューズを取り替え、ブレーカーを電 源オンの位置に直してください。

一人门注意

- 濡れた手で電源スイッチの操作やヒューズの交換、電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。
- ヒューズを交換するときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

## 紙送りはするけど印字されない

	【確認してください】	【直しかた】
1	サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りつ いていませんか?	サーマルヘッドが汚れていたら、添付のクリーニ ングペンで汚れをふき取ってください。ラベルが 貼りついていたらはがしてください。 ※金属物での除去は避けてください(サーマルヘ ッドを傷つける恐れがあります)。 このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着 していたら、プリンタクリーニングセット*でふ き取ってください。「毎日のお手入れ」を参照し てください。→54ページ
2	本プリンタ用の純正用紙を使っていますか?	サトー製プリンタには純正用紙のご使用をお願いします。
3	用紙センサが汚れていませんか?	用紙センサが汚れていたら、プリンタクリーニン グセット*で汚れをふき取ってください。「毎日 のお手入れ」を参照してください。→54ページ
4	コンピュータから送られてくるデータ・信号の内 容が誤っていませんか。	コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件 の確認をしてください。

\*プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際は、サポートセンター、販売店へお問い合わ せください。



## きれいに印字しない



	【確認してください】	【直しかた】
1	用紙が正しくセットされていますか?	用紙がきちんと固定されているか調べてください。 また、サーマルヘッド部をオープンして、用紙が 正常な位置にとまっているか調べてください。
2	印字濃度が薄すぎたり、濃すぎたりしていません か?	設定操作で印字濃度を設定し直してください。
3	プラテンローラが汚れていませんか?	プラテンローラが汚れていたら、プリンタクリー ニングセット*で汚れをふき取ってください。
4	サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りつ いていませんか?	サーマルヘッドが汚れていたら、添付のクリーニ ングペンで汚れをふき取ってください。ラベルが 貼りついていたらはがしてください。 ※金属物での除去は避けてください(サーマルヘ ッドを傷つける恐れがあります)。 このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着 していたら、プリンタクリーニングセット*でふ き取ってください。「毎日のお手入れ」を参照し てください。→54ページ
5	汚れた用紙を使っていませんか?	きれいな用紙を使ってください。
6	本プリンタ用の純正用紙を使っていますか?	サトー製プリンタには純正用紙のご使用をお願いします。

\*プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際は、サポートセンター、販売店へお問い合わ せください。

注意
 清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

## 印字位置がずれる

	【確認してください】	【直しかた】
1	用紙が正しくセットされていますか?	用紙をきちんと固定してください。 また、サーマルヘッド部をオープンして、用紙が 正常な位置にとまるようにセットし直してくださ い。
2	プラテンローラが汚れていませんか?	プラテンローラが汚れていたら、プリンタクリー ニングセット*で汚れをふき取ってください。
З	型くずれした用紙を使っていませんか?	用紙の周囲が型くずれしていると紙送りが正常に できません。新しい型くずれしていない用紙を使 ってください。
4	本プリンタ用の純正用紙を使っていますか?	サトー製プリンタには純正用紙のご使用をお願いします。
5	用紙センサが汚れていませんか?	用紙センサが汚れていたら、プリンタクリーニン グセット*で汚れをふき取ってください。「毎日 のお手入れ」を参照してください。→54ページ
6	コンピュータから送られてくるデータ・信号の内 容が誤っていませんか?	コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件 の確認をしてください。
7	ピッチ補正 (ボリューム) または、基点補正(ユ ーザーモード設定)の内容がおかしくありません か?	ピッチ補正(ボリューム)または、基点補正(ユ ーザーモード設定)の内容を設定し直してくださ い。

\*プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際は、サポートセンター、販売店へお問い合わ せください。

ー <u>/ 注意</u> • 清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

# オプションについて

本プリンタではお客様のニーズにお答えできるように、次のオプションを用意しております。

## オプションの種類

#### ▲メモリカード

印字フォーマットやグラフィックデータなどを記憶させることができます。 メモリカードは、1M、2MバイトTYPEI、II(JEIDA Ver4.2/PCMCIA Ver2.1仕様準拠) SRAMカードを用意しております。

#### 取り付け方

- 1. プリンタ背面のスロットカバーをマイナスドライバを使用して外してください。
- メモリカードをカードスロットに差し込んでください。
   メモリカードをカードスロットに差し込まずにコマンドを送るとエラーが発生します。
   詳しくは、「あれ?どうしたのかな?」を参照してください。→45ページ
- 3. スロットの下にありますイジェクトボタンが少し飛び出てくるのを確認してください。

## 取り外し方

- 1. スロットの下にあるイジェクトボタンを押します。
- 2. メモリカードが少し飛び出ますので、メモリカードを引き抜いてください。

#### ★ご注意

- 1. メモリカード取り付け、取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体の電源を切ってから行って ください。メモリカードやカード基板、プリンタ本体を破損する恐れがあります。
- 2. メモリカードには、TYPE I、II JEIDA Ver4.2/PCMCIA Ver2.1 電池内蔵タイプをご使用 ください。
- 3. スロットにカードが挿入されていないときは、異物混入防止のためスロットカバーを取り付け てください。
- 4. スロットカバーと取り付けネジは、無くさないように保管してください。

## ▲漢字アウトラインフォントカード

漢字を拡大してギザギザが出ない、漢字フォントデータが記憶されております。 取り付け、取り外しはメモリカードの取り付け、取り外しを参照してください。

#### ▲インタフェースボード

プリンタとコンピュータとのデータをやり取りするためのボードです。

○パラレルインタフェースボード(IEEE1284) (オプション)

○RS-232Cインタフェースボード (オプション)

- ○USBインタフェースボード (オプション)
- ○LANインタフェースボード (オプション)

○無線LANインタフェースボード (オプション)



取付ネジ インタフェースボード

※ご不明な点がありましたら、購入された販売店・ディー ラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。

# \_\_\_\_\_\_注意

インタフェースボードの取り付け取り外しを行うときは、必ず、プリンタ本体の電源を切ってから行ってくだ さい。 インタフェースボードやプリンタ本体を破損する恐れがあります。

## ▲ハクリタイプ(工場オプション)

プリンタにラベルと台紙をはがす、ハクリユニットを付けたタイプです。

#### ▲カッタタイプ(工場オプション)

プリンタに用紙を1枚1枚カットする、カッタユニットを取り付けたタイプです。

# 毎日のお手入れ

本機は大切な情報を含んだバーコードや文字を印字するプリンタです。各部が汚れていると大切な バーコードや文字もきれいに印字できなくなるだけでなく、故障の原因にもなります。クリーニン グペン、プリンタクリーニングセット\*、ラッピングシート\*を使って定期的に清掃してください。

## ▲お手入れの時期

お手入れの時期の目安はつぎの通りです。

- プリンタクリーニングセット\*でのお手入れ
- ・サーマルヘッド・プラテンローラ、用紙センサ、ラベルガイド
- 用紙1巻おき、あるいは用紙75メートル印字ごと

・その他

- 用紙6巻おき、あるいは用紙450メートル印字ごと
- ラッピングシート\*でのお手入れ
- ・用紙6巻おき、あるいは用紙450メートル印字ごと

## ▲お手入れのときの注意

お手入れのとき、つぎのことに注意してください。

- 上の清掃時期は目安ですので、汚れの程度によって都合の良い時期に清掃してください。
- 各部の清掃には、綿棒や綿布をご使用ください。
- ドライバなどの堅いものを使用して清掃すると、各部を傷つける恐れがあります。特にサーマルヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。
- 電源は必ず切ってからおこなってください。

## ▲お手入れのしかた

クリーニングペン、プリンタクリーニングセット\*、ラッピングシート\*を使って、下記の部分を 清掃してください。

#### サーマルヘッド部及びセンサ部



検知センサー

プラテンローラ



ラッピングシート\*



- ※ラッピングシートの使い方は、ラッピングシートに添付の「サーマルヘッド付着カス除去につい て」をご覧ください。
- \*プリンタクリーニングセットとラッピングシートはオプションです。ご購入の際は、サポートセンター、販売店へお問い合わせください。



モデル名		スキャントロニクスMT400e	スキャントロニクスMT410e	
ヘッド密度		8本/mm 12本/mm		
印字方式		感熱方式		
本体メモリ		標準メモリ 2MB、拡張メモリ 4MB	(2MB×2 標準装備)	
通信バッフ	ア	最大 2.95MB (ニアフル 2MB)		
印字速度		2、3、4、5、6インチ/秒 但し、印字レイアウト、用紙の種類によっては規制する場合があります。		
印字有効工	リア	標準 : 幅112mm×ピッチ400mm (DSW2-80FF) 旧互換: 幅112mm×ピッチ178mm (DSW2-80N)		
用紙種類		サトー純正用紙のご使用をお願いします	٥	
用 紙 サイズ	連続	幅 :37~128mm(台紙含み 40 ピッチ:25~397mm(台紙含み 28 ピッチ:25~356mm(台紙含み 28	)~131mm) 3~400mm) 〈DSW2-80FF〉 3~359mm) 〈DSW2-80N〉	
	ティアオフ	幅 :37~128mm(台紙含み 40 ピッチ:25~397mm(台紙含み 28 ピッチ:25~356mm(台紙含み 28 注)使用条件によってサイズの制約が付	)~131mm) 3~400mm)〈DSW2-80FF〉 3~359mm)〈DSW2-80N〉 きます。	
	カッタ	幅 :37~128mm(台紙含み 40 ピッチ:25~397mm(台紙含み 28 ピッチ:25~356mm(台紙含み 28	)~131mm) 3~400mm) 〈DSW2-80FF〉 3~359mm) 〈DSW2-80N〉	
	ハクリ	幅 :37~128mm (台紙含み 40 ピッチ:25~397mm (台紙含み 28 ピッチ:25~356mm (台紙含み 28	)~131mm) 3~400mm) 〈DSW2-80FF〉 3~359mm) 〈DSW2-80N〉	
用紙形態		ロール紙:最大外径6インチ(約75m巻 ファンフォールド紙:最大折り畳み高さ	き)、裏巻き、紙管内径3インチ 100mm(本体外部より供給)	
インタフェース		インタフェースカードスロット(標準出荷時は I/F ボード無し)、EXT 注)インタフェースカードスロットはオプション機器の③~⑧が装着可能		
カードインタフェース		1スロット(SRAMカード:2Mbyte、フラッシュカード:16Mbyte)		
コマンド		SBPL Ver2.0 (SATO Barcode Printer Language)		
バーコード		UPC-A/UPC-E、JAN/EAN、CODE39、CODE93、CODE128、 GS1-128(UCC/EAN-128)、CODABAR(NW-7)、ITF、 インダストリアル2of5、マトリックス2of5、カスタマバーコード、 UPCアドオンコード、GS1 DataBar(RSS)		
2次元コード		QRコード、マイクロQR、PDF417、マイクロPDF、MAXIコード、 GS1データマトリックス(ECC 200)		
合成シンボル		合成シンボル(JAN/EAN、UPC-A/UF GS1 DataBar(RSS))	PC-E、GS1-128、	

モデル名		スキャントロニクスMT400e スキャントロニクスMT410e		
フォント	内 蔵 フォント	8本/mm         12本/mm           OCR-A         15×22         (数字、記号)           OCR-B         20×24         (数字、記号)           OCR-B         30×36         (数字、記号)		
		X205×9(英数字、記号、カタカナ)(共)X2117×17(英数字、記号、カタカナ)X2224×24(英数字、記号、カタカナ)通X2348×48(英数字、記号、カタカナ)X2448×48(英数字、記号、カタカナ)		
	漢字ROM フォント	漢字 16×16 (JIS第一水準、第二水準)(角ゴシック体/明朝体選択可) 漢字 24×24 (JIS第一水準、第二水準)(角ゴシック体/明朝体選択可)		
アウトライ	ンフォント	英数字、記号、カタカナ		
ラスタライ	ザフォント	CGTimes (英数字、記号) CGTriumvirate (英数字、記号)		
文字印字方 (バーコー	向 ・ド)	各データごとに、0°、90°、180°、270°の回転が可能。 (パラレル1、パラレル2、シリアル1、シリアル2のバーコードに対応。)		
バーコード	比率	1:2、1:3、2:5、任意指定可能		
文字拡大倍 (バーコー	率 ・ド)	縦1倍~12倍、横1倍~12倍 バーコードの場合は、1L~12L		
各種機能		ステータス返送機能、グラフィック機能、連番機能、フォームオーバレイ機能、 外字登録機能、文字補正機能、白黒反転機能、罫線機能、ダンプリスト機能、 フォーマット登録機能、アウトライン機能、アウトライン変形機能、 ラベルスキップ機能、ゼロスラッシュ切替え機能、JIS/シフトJIS切替え機能		
自己診断機能		ヘッド切れチェック、ペーパーエンド検出、ヘッドオープン検出、 メモリカードエラー検出、テスト印字		
操作部		LCD : 16×2行 英数(バックライト付) スイッチ : LINE、FEED ディップスイッチ : 2個 ボリューム : PRINT、OFFSET、PITCH		
ノイズ規格	ł	VCCI class B		
寸法、重量	ł	261W×322D×285H(mm) 10.3Kg(標準)		
電源		電圧 AC100V±10% 周波数 50/60Hz±5%		
消費電力		ピーク時 190VA 150W(待機時 30VA 20W)		
温度/湿度環境		使用環境 5~40℃/20~80%(但し、結露無きこと) 保存環境 -5~60℃/20~90%(但し、結露無きこと)		
オプション   		①カッタユニット ②ハクリユニット⑦無線LANインタフェースボード (LAN:10BASE-T/100BASE-TX)③RS-232Cインタフェースボード ④IEEE1284インタフェースボード ⑤USBインタフェースボード (10BASE-T/100BASE-TX)⑦無線LANインタフェースボード (LAN:10BASE-T/100BASE-TX)③加ード(SRAMカード、FLASHROMカード) ⑩外部供給装置		
	<b>の登録商</b> 橋 <sup>ま(株)</sup> デンソ	まよび商標についてのお知らせ ーウェーブの登録商標です。		

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

# **アフターフォローについて**

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を、安心してご使用いただくため に、保守サービス業務を行っております。 保守サービス業務について、ご説明します。

# サービスの種類一覧表

	交換部品	技術料	出向費
保証期間内サービス	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サービス	契約料金に含みます	契約料金に含みます	契約料金に含みます
スポットサービス	そのつど有償	そのつど有償	そのつど有償

標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後より5年間とさせていただきます。 (機器の販売終了につきましては、弊社のホームページ<u>http://www.sato.co.jp</u>でご確認ください。)

# 保守サービスの内容一覧表

出向保守	オンサイト保守	故障が発生した場合、お客様のご要望により技術員 を派遣し、故障の修復にあたります。
持ち込み保守	センドバック保守	故障が発生した場合は用紙を同梱した状態で、機 器・故障ユニットを最寄りのサポートセンター・販 売店へ、お客様により持ち込んで(運送して)いた だいて、故障の修復にあたります。運送費はお客様 負担となります。

# 保守サービスの説明

## 保証期間の保守サービス

製品は1台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故 障については、納入より6か月間を保証期間として無償修理を行っております。

サーマルヘッド、カッタ、プラテンローラー等の消耗部品につきましては、弊社純正サプライ品での走行 距離30km(カッタは30万回)または納入より6か月間の早い方が無償修理対応となります。

# 保守契約サービス

保証期間が過ぎましても、安心してご使用いただくために「保守契約サービス」があります。

## フルメンテナンスサービス

#### 1. 目的

お客様とサトーが保守契約し、契約期間中の正常なご使用のもとでの修理は、この契約に基づき実施いた します。技術料、および修理に使用した交換部品は、保守契約により充当されます。したがって、お客様 にとりましては1年間一定の保守料で安心してご使用いただくことができます。

#### 2. 保守契約料

保守契約料は、機器ごとにご使用状況別に年間の契約料をお見積りいたします。

#### 保守契約サービスの期間

フルメンテナンスサービスは1年単位で契約し、解約のお申し出がない限り、4年間まで継続して契約することができます。4年をこえる保守契約サービスについては、別基準にしたがい個々にお見積りいたします。

#### 保守契約の対象地域について

保守契約の対象地域に、サトー本社、支店、営業所、サポートセンターの所在地より半径80km以内といたします。対象地域外の場合は、遠隔地料を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。 なお離島の場合は、交通費を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。

# スポットサービス

保守契約を申し受けていない場合、保証期間終了後、すべてスポットサービスを実施いたします。 故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理に時間がかかることがござ いますが、ご了承ください。

スポットサービスを実施した場合、サービス料金表に基づき、保守料を請求させていただきます。そのつ どお支払いくださいますよう、お願いいたします。

#### 銀行預金口座振込

お支払いには、振込手続が不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

#### 登録データについて

修理を依頼される場合は、機械又はカード等に登録された各種データ・ソフト(フォーマット・プリセッ トデータ・印字ソフト等々)が、修復作業時に壊れる場合があります。(登録された各種データ・ソフト の保証は出来ません)

特に預かり・持込み保守におきましては、お客様で予め別途保存されることをお勧めします。修理の完了 した機器の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。





\* Q00198001 \*